



葉っぱの赤ちゃん

「ねんねなむら」は

月の夜。

そっと光を普せかけて、  
だまっとうたうねんね唄。

「越っねなむら」は

風の夜。

東の空のくらひいん、  
ゆすっつおめめおまわらせぬ。

風のおおせ

小鳥たち。

みんな唄をつたったり、  
枝にかくれて、また出たり。

ちいさな葉っぱの赤ちゃんは

おっぱいのなでねんねして、  
ねんねした間にふくらみます。

金子みすゞ全集  
JULA出版局より

## 《矢崎節夫と読む・・・さみしい王女（金子みすゞ第三童謡集）》

この作品を読むと、一枚の葉っぱの赤ちゃんも、お母さんの木だけで育っているのではなことがわかります。月の光、星のまたたき、風のそよぎ、小鳥の歌、お月さまや雨によっても育てられているのです。一枚の葉っぱさえ、宇宙全体で育てているのです。

それだけではありません。わたしたち人間もまた、同じです。お父さんやお母さん、おじいさんやおばあさん、先生やお友だち、まわりにいるすべての人だけでなく、宇宙全体で育てられているのです。そして、みなさんも、だれかを育てているたいせつな存在です。そう思うと、うれしいですね。

土と草

かあさん知らぬ

草の子を、

なん千万の

草の子を、

土はひとで

育てます。

草があおあお

しげったら、

土はかくれて

しまうのに。

金子みすゞ全集  
JULA出版局より

草の子が母さんを知らないのは、草の子が芽をだしたとき、母さんである前の草は、もうかくれているからです。かくれて、土になるのです。

土は、たくさんの草の母さんの集まり、大きい母さんといってもいいでしょう。だから、なん千万の草の子を、選ぶことなく、豊かに育てるのです。そして、草の子が大きく育ってしげると、土のお母さんは見えなくなるのです。

お父さん、お母さんとみなさんも、「土と草」なのですね。

5年生の男の子が、この作品を読んで、「みすゞさんは、いっぱい草と書かずに＜なん千万の＞と書いてあります。ぼくは、草をひとまとまりと考えず、草の子一本一本をたいせつに思うみすゞさんのやさしさをかんじました。」と、手紙をくれました。

このことに気づいた男の子は、すてきですね。

### 定例会日時のお知らせ

☆日時：毎月第2木曜日 AM10時～12時30分まで

☆場所：新居浜市まちづくり協働オフィス

Tel/0897-65-3158/Fax0897-65-3157 /[info@niihama-kyodo.jp](mailto:info@niihama-kyodo.jp)

お気軽にご参加ください

### エッセイ募集

☆私の好きなみすゞの詩

☆どしどしご投稿下さい。

090-5642-7809 /[yuyu1221@cream.plala.or.jp](mailto:yuyu1221@cream.plala.or.jp)

Fax0897-41-1125

# 石鎚みすゞコスモス情報

会員期限更新の手続きをありがとうございます

した。(まだお済みでない方は、現在も受け付けています)

7月19日で、「石鎚みすゞコスモス」は12歳のお誕生日を迎えます。一緒に会を支えてくださった皆さまに感謝申し上げます。

●私たちは、下記の活動を行っています。  
どうぞお気軽にご参加ください。

- ▶ 定例会を毎月第二木曜日に開催し、金子みすゞの詩を通してその優しいまなざしを学ぶ
- ▶ 年に一度、市民を対象に講演会・コンサート等を開催し多くの人々と感動を共にし、みすゞの心を広げる
- ▶ 「東日本・関東大震災義援金(みすゞ義援金)」(被災地の小学校へ金子みすゞの詩集を贈る)に参加協力する(アルミ缶回収運動を推進する)
- ▶ 市内小中学生を対象に感想文・感想画募集する。(金子みすゞさんの温かい思いやりの心を、次代を担う子どもたちに伝え育む活動)
- ▶ ジャスコとイオン専門店街の一部が実施している『幸せの黄色いリボン運動』に参加する

## 第17回石鎚みすゞコスモスの集い 金子みすゞの宇宙

…響け童謡(うた) ごえ夢あるこらへ

★一部：みすゞトーク

「受け継がれる童謡」

～みすゞさん、まど・みちおさん、そして…～

矢崎節夫&らくさぶろう

★二部：コンサート

「みすゞ・童謡の心」

ちひろ

日時：11月24日(日)13:00～

場所：新居浜市市民文化センター中ホール

参加費：大人2,000円 高校生以下：500円

広報活動をお願いいたします

(お友達にもお声がけください)

みんなで楽しい集いにしましょう

★市内小中学生対象に感想文・感想画を募集しています。

作品がたくさん出されるよう、皆さんからもお声がけください。



## スプーン博士と音楽と

★日時：8月24日(日)17:00～20:00

★場所：洋食KOKORO(明屋書店MEGA西の土居店内)

★参加費：6000円(3,500円は食事…1皿が付きます。)(定員：50名)

[お話と音楽とお食事の夕べ]

### フェリアード プロフィール

山本なつき(ボーカル、ギター)



香川県出身。京都外国語大学(イスパニア語学科)在学中に歌とギターを始め、アメリカンフォーク、アイリッシュ音楽を中心に京都府内で活動。その後、メキシコでの留学、就職を経て様々なラテン文化に触れる。帰国してから

ボサノバの神様ジョアン・ジルベルトの世界に魅了されブラジリアン音楽を開始。

レパートリー(ボサノバを中心にラテン、アメリカンポップスなども)

小山寛治(ピアノ、パーカッション)



岡山県出身。ホテルで中華料理の修業中、そこでピアニストの奏でる音に耳を傾け、みようみまねで自己特訓するうちに、そのままピアノの仕事も横取りしてしまった超地獄耳のピアニスト。

以来20年、「僕は創るのが好き」が口癖で、その時の気分、その時の雰囲気、その時のお客さんの顔で紡ぎ出す音は様々に形を変える。ボサノバ、ジャズ、ラテン、

ブルース…ジャンルを問わず音楽を追及する彼は、垣根のない心豊かなサウンドを生み出す。

### 佐治晴夫 プロフィール



1935年東京に生まれる。理学博士。東京大学物性研究所、NASA特別研究官、玉川大学教授などを経て、2004年から、縁あって鈴鹿短期大学学長。量子論的「無」のゆらぎからの宇宙創生理論で知られるが、一方では、NASAのボイジャー計画やET、(地球外知的生命)探査にもかかわり、1977年、太陽系・外惑星探査を目的として打ち上げられたボイジャーに、地球からのメッセージとしてバッハのプレリュードを9搭載することの提案などでも知られている。主要著書に『宇宙の不思議』(PHP研究所)、『二十世紀の忘れもの』(雲母書房)、『夢みる科学』(玉川大学出版)、『わかることはかわること』(河出書房新社)、『からだは星からできている』、『女性を宇宙は最初につくった』(いずれも春秋社)など多数。